

拠点名称：災害など危機的状況から住民を守るレジリエントな広域連携医療拠点

代表機関	順天堂大学	プロジェクトリーダー	隈丸 加奈子 順天堂大学 大学院医学研究科 准教授
参画機関	千葉大学、山梨大学、群馬大学、福島県立医科大学 InnoJin株式会社、ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社、セイコーソリューションズ株式会社、清水建設株式会社、株式会社アインホールディングス、株式会社シード、株式会社ニコンソリューションズ、株式会社サンウェルズ、アマゾンウェブサービスジャパン合同会社、TIS株式会社、公益財団法人かずさDNA研究所、株式会社はくばく、NPO法人慢性疾患診療支援システム研究会、日本コントロールシステム株式会社、株式会社メディセオ、株式会社大林組、認定NPO法人シャイン・オン・キッズ、東京都、文京区、山梨県、南アルプス市、群馬県、御前崎市		

プロジェクトの概要

【背景】 災害など危機的状況が発生すると、急性期の直接的な健康被害に加えて、受診の遅れや服薬の滞り等による既存疾患の悪化、ストレス性疾患の発症など、被災者には中長期的に渡って二次的・間接的な健康影響があることが明らかとなっている。

【ビジョン】 災害後の二次的・間接的な健康被害を解決する技術を開発し、災害など危機的状況が起こっても人々が中長期的に健康でいられる社会を築く。

【ビジョン達成のための4つのターゲット】

ターゲット1：ヒト・モノがつながる

広域連携を活かしたレジリエントな人・物のつながりを構築し、二次的・間接的な健康被害が発生しない避難環境を実現する。

ターゲット2：ココロがつながる

災害時もレジリエントな「こころ」の交流環境を構築し、災害後の精神的・社会的孤立を防ぐ。

ターゲット3：不調を予測する

中長期の健康被害の予測モデルを構築し、避難や早期介入の最適化を図る。

ターゲット4：正しく知る・育てる

災害の正しい知識が得られる環境構築および人材を育成する。

